

国産プラネタリウム草創期の試作機

登録番号	第 00313 号		
登録年月日	2021(令和3)年9月14日	登録区分	第二種(単一又は極めて少量生産されたもの)
名称 (型式等)	西村式試作プラネタリウム投影機		
所在地	岡山県津山市		
	つやま自然のふしぎ館		
所有者 (管理者)	つやま自然のふしぎ館		
製作者(社)	株式会社西村製作所		
製作年	1967年		
初出年	1967年		
選定理由	<p>森本慶三（岡山県津山市在住）が、1963年11月に開設した津山科学教育博物館（現：つやま自然のふしぎ館）の施設として、当時、国産化が始まっていたプラネタリウムの設置を検討、1957（昭和32）年に西村繁次郎（天体望遠鏡メーカー西村製作所）に開発を依頼した。西村は、大阪市立電気科学館にあったカールツアイスⅡ型プラネタリウムを参考にするなど、10年の歳月を費やして1967（昭和42）年に完成させた。本機は、恒星はレンズ投映式で、惑星投映機がプリセット式のため年周運動が出来ない等の問題はあったが、試作品として博物館に設置された。現在は休止しているが、1980年頃までは津山市民に公開されていた。本資料は、西村製作所が製作した唯一のプラネタリウムであり、国産プラネタリウム草創期の資料として重要である。</p>		
登録基準	<p>一―二（地域等の発展の観点から見て記念となるもの） 二―ハ（社会、文化と科学技術の関わりにおいて重要な事象を示すもの）</p>		
公開・非公開	非公開		
写真			
その他参考となるべき事項			